

2019年11月28日

原料費調整制度に基づく2020年1月検針分のガス料金について

（群馬南地区）

東京ガス株式会社
広 報 部

東京ガス株式会社は、「原料費調整制度」に基づき、2020年1月検針分の単位料金を、2019年12月検針分と比べ、1m³（45MJ）につき0.17円（消費税込）下方に調整いたします。

今回の調整は、2019年8月～2019年10月の平均原料価格に基づくものです。

これにより、1ヵ月に34m³のガスをお使いになる標準家庭で2019年12月検針分と比較して、6円（消費税込）ガス料金が下がります。

2020年1月検針分に適用するガス料金については、当社ホームページ等であらかじめお知らせいたします。

1. 一般契約料金

各月のご使用量に応じてA～Cの各料金が適用されます。
(消費税込)

1ヵ月のご使用量	料金表A 0～22m ³	料金表B 23～223m ³	料金表C 224m ³ ～
基本料金 (円/月)	759.00	924.00	2,574.00
調整単位料金 (円/m ³)	120.65	113.28	105.91
(参考) 12月 調整単位料金	120.82	113.45	106.08

2. 標準家庭における影響

(消費税込)			
1ヵ月のご使用量 34m ³ (45MJ/m ³)	2019年 12月	2020年 1月	増減
適用料金(円/月)	4,781	4,775	▲ 6

- ・標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1ヵ月あたりの平均使用量（2012年度～2016年度の5ヵ年平均）に基づき算定しています。
- ・口座振替割引をご契約している場合の標準家庭ガス料金は、上記適用料金から55円（消費税込）を抜いた金額となります。

3. 原料価格の変動

(円/t)

	2019年7月～2019年9月 の平均 (12月 検針分)	2019年8月～2019年10月 の平均 (1月 検針分)	対前期 差額
平均原料価格(a)	25,510	25,340	▲ 170
LNG	54,050	53,800	▲ 250
LPG	44,500	42,930	▲ 1,570
基準平均原料価格(b)	27,350		
差額(a-b)	▲ 1,800	▲ 2,000	▲ 200

- ・ LNG価格、LPG価格とともに貿易統計値。
- ・ 平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨て。

4. 単位料金調整額の算定方法

<原料価格の変動による単位料金調整額の算定>

■ 平均原料価格の算定

$$\begin{aligned} \text{LNG平均原料価格(貿易統計値)} &= 53,800 \times 0.4414 \\ \text{+LPG平均原料価格(貿易統計値)} &= 42,930 \times 0.0371 \end{aligned}$$

$$= 25,340.02$$

↓(10円未満四捨五入)

$$25,340 \text{ 円/t}$$

■ 原料価格変動額の算定

$$25,340 \text{ 円/t} - 27,350 \text{ 円/t} = \begin{matrix} \text{▲ 2,010} \\ \text{円/t} \end{matrix}$$

↓(100円未満切捨て)

$$\begin{matrix} \text{▲ 2,000} \\ \text{円/t} \end{matrix}$$

■ 単位料金調整額(m³当たり調整額)の算定

$$\begin{aligned} \text{単位料金調整額} &= \begin{matrix} \text{▲ 2,000} \\ \text{円} \end{matrix} / 100 \text{円} \times 0.0858^{*1} \\ &= \begin{matrix} \text{▲ 1.72} \\ \text{円}^{*2} \end{matrix} \end{aligned}$$

*1 変動額100円につき単位料金を0.0858(0.078×1.1)円調整します。

*2 調整額がプラスの時は少数点第3位以下を切り捨て、マイナスの時は少数点第3位以下を切り上げます。

<標準家庭における影響>

(消費税込)

1ヵ月のご使用量 34m ³ (45MJ/m ³)	2019年 12月	2020年 1月	増減
適用料金(円/月)	4,781	4,775	▲ 6

・ 標準家庭料金の計算方法

群馬南地区

$$\begin{aligned} \text{本体料金(税込)} &= \text{基本料金(924.00円)} \\ &+ \text{調整単位料金(115.00円)} + \begin{matrix} \text{▲ 1.72} \\ \text{円} \end{matrix} \times 34\text{m}^3 \end{aligned}$$

料金改定時の基準単位料金(税込) ↑ ↑ 単位料金調整額(税込)

・ 本体料金は小数点以下切捨て

[参考]

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金（ガス1m³あたりの単価）を調整する制度です。
- ・ 「基準平均原料価格（27,350円/t）」と「平均原料価格（料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定）」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m³あたり0.0858円（0.078円に1.1（消費税）を乗じた値）単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計値によります。
- ・ 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が43,760円（上限値）を超えた場合には、「平均原料価格」は43,760円としてガス料金の調整を行います。